令和４年度　東京都立白鷗高等学校附属中学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1　出題の基本方針

(1)　小学校等で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
(2)　与えられた課題を解決するために必要な、分析力、考察する力をみる。
(3)　身近な事象の中から課題を発見し、それを解決するための方法を考えることを通して、その考えが適切であるかを判断し、自分の意見を適切に表現する力をみる。

2　適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱ（及び適性検査Ⅲ）を実施する。

適性検査Ⅰ（４５分）

(1)　出題の方針

グローバル化が進む国際社会において、その変化に対応するとともに自分の理念をもち、それをどう伝えるかについて考えさせ、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみる。

(2)　問題の構成及び主なねらい

・　大問を１問とし、小問３問で構成する。
・　与えられた文章を正確に読み取り、問われていることについて、決められた字数でまとめる力をみる。
・　与えられた文章を踏まえ、具体的な例を挙げながら、自分の考えを４５０字以上５００字以内で書く力をみる。

適性検査Ⅱ（４５分）

(1)　出題の方針

資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。

(2)　問題の構成及び主なねらい

・　大問を３問とし、小問６問で構成する。
・　図形を題材とし、言葉・数・式などを用いて、数理的に考察・処理する力、論理的に考え表現する力、図形の構成について思考・判断する力をみる。
・　郷土料理を題材とし、複数の資料から読み取った情報を関連付け、それを活用して考察し、的確に表現する力をみる。
・　石けんと洗剤を題材とし、実験をもとに物質の性質について考察し、的確に表現する力をみる。

適性検査Ⅲ（４５分）

(1)　出題の方針

身近な事象や課題に対して、数理的な分析を行うとともに、与えられた条件を基に総合的に考察し、判断・解決する力をみる。

(2)　問題の構成及び主なねらい

・　大問を２問とし、小問７問で構成する。
・　架空の校舎改築を題材として、数理的な処理をもとに思考・判断する力、事象を場合分けし、論理的に考察・説明する力をみる。
・　「さかさ卵」を題材として、与えられた文章や資料から適切に情報を読み取り、自然事象を分析し考察する力、与えられた条件を基に総合的に判断する力、課題を解決する思考力をみる。